

人材開発支援助成金活用事例

教育訓練休暇等付与コース：教育訓練休暇制度

会社概要

中小企業（税理士法人）

従業員数：8名

事業内容：税務・会計・財務業務

助成金を活用するに至った背景事情

従業員が自発的な学びを必要と感じながらも、なかなか集中的に学習に充てる時間の確保が難しいという状況を知り、自発的にスキルアップに取り組める機会の確保ができる制度の導入に至った。

人材育成上の課題

個々の従業員が担当する企業の業種や規模により、求められる必要な知識やスキルも異なるため、一律的な研修の実施が難しく、個人任せの学習に頼る結果となっていた。

人材開発支援助成金の活用

教育訓練の内容

- 教育訓練機関：①職業能力開発促進センター
②会計専門教育セミナー
- 受講コース：①IT活用セミナー（Excel中・上級）
②顧客対応力セミナー
- 訓練期間：①1コース（2日間）×2コース
②1日
- 訓練内容：①表計算ソフトにおける関数の活用及びマクロによる定型業務の自動化
②顧客コミュニケーションの強化

助成金のコース

教育訓練休暇等付与コース（教育訓練休暇制度）

3年間に5日以上を取得が可能な有給の教育訓練休暇を導入し、実際に適用した事業主に助成

助成金の額（1企業あたり）

支給額

支給額 300,000円

制度導入の効果

休暇を有効に利用するために、自らが必要と思う研修を模索し選定することが、積極的な学びにつながり、業務の効率化に役立った。

今後の展開

他の社員にも制度を活用してもらい、個人個人のスキルアップを支援したい。